

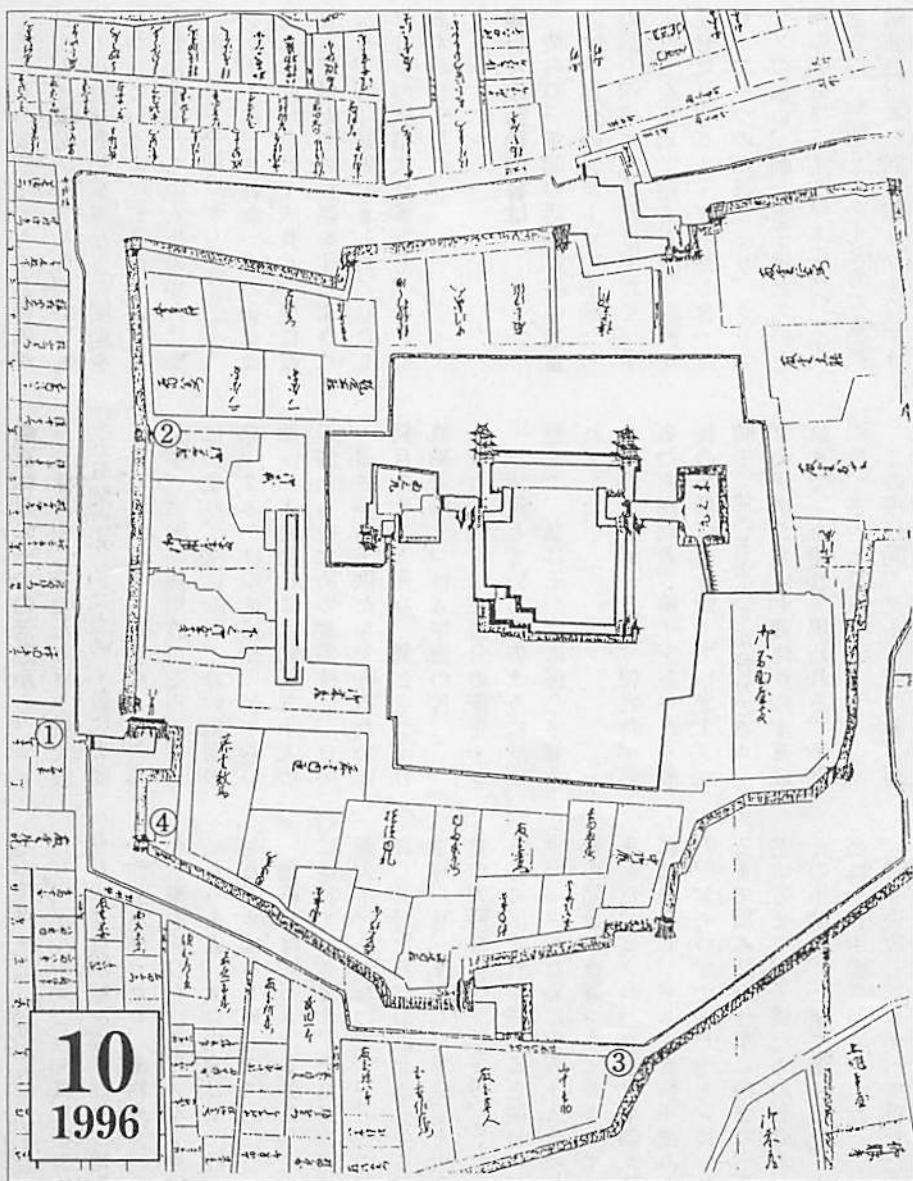
京都教区時報

カトリック京都教区ガビエルネット/アクセスNo.075-467-1676 ゲストID:GUEST 通信速度:1200-28800bps 通信条件:N,8,1,X,N
e-mail catholic@mbox.kyoto-inet.or.jp Home Page http://web.kyoto-inet.or.jp/org/catholic/

第227号

田中司教認可
発行 京都司教区
責任者 村上透磨
京都市中京区河原町
三条上ル
カトリック会館
編集用 TEL・FAX
075-682-5673

P.7 MISAS EN:ENGLISH,PORTUGUES,ESPAÑOL.



1719年の津城下図(樋田清砂氏蔵)

津の殉教者とその遺跡

津教会(地図の①)の周辺には、殉教者の処刑地や遺跡等が数多く見受けられる。江戸時代中期の津城下の古地図を見ると、中央に本

丸と西の丸が書かれ、その外郭を二の丸が取り巻き、そこには重臣達の屋敷や藩の各役所が置かれていた。西側の式部蔵の空地(地図の②)で、一六三五年に中島長兵衛夫妻が逆さに吊りつけられた。堀の南東端の岩田堤の空地(地図

③)で、鰐江九右衛門夫婦が、その後永田少藏、古賀半七、森島藤三郎が逆さに吊りつけられ殉教した。城内の牢獄(地図の④)では、研ぎやの長右衛門が、ついで八幡町に住んでいた八左衛門が拷問の末絶命した。

子供たちの家庭はもちろん貧困だけでなく家庭内暴力や両親のアルコール及び薬物薬毒などの問題をかかえています。若者たちは、こうした子供たちの人生の歩みにより添つて、手助けをしてゆきます。シンナーに犯された一人の少女は彼らに助けられて成長し、後に彼女も子供たちの世話をするようになり、昨年結婚しました。私たちには彼女の結婚式に参加し、幸せにあずかりました。

● MOANI (モアニ) 青少年の使徒的運動

モアニとは若者のグループ活動の名前です。私が彼らとともに働き始めて三年になります。正式には、Movimiento Apostolico de Adolescentes y Ninos=青少年の使徒的運動。高校生から勤労青年を含みます。チリは失業率も高いので、職をさがしている青年もあります。彼らは自分が住んでいる同じ路地に住む子供たちのお兄さん、お姉さんになって子供たちの相談遊び相手になっています。

彼らの一年間の活動は実に豊富です。自分のグループの子供たちの話し相手になるだけでなく、子供たちを集めて遊んだり、映画を見せたり、グループで話し合ったり、おやつの準備、ミサ、クリスマスの祝い、劇など子供たちのための集会は二十回以上に及びます。さらに、毎週リーダーたちの集会、勉強会、年二回首都サンティアゴで行われる国内大会にも子供代表をつれて参加しています。その他、活動資金集め、食料の寄付集め、などなど絶えず動いています。私は彼らのおしまない奉仕へのエネルギーと責任感に頭の下がる思いをしています。

● 日々の活動内容

彼らの一年間の活動は実際に豊富です。自分のグループの子供たちの話し相手になるだけでなく、子供たちを集めて遊んだり、映画を見せたり、グループで話し合ったり、おやつの準備、ミサ、クリスマスの祝い、劇など子供たちのための集会は二十回以上に及びます。さらに、毎週リーダーたちの集会、勉強会、年二回首都サンティアゴで行われる国内大会にも子供代表をつれて参加しています。その他、活動資金集め、食料の寄付集め、などなど絶えず動いています。私は彼らのおしまない奉仕へのエネルギーと責任感に頭の下がる思いをしています。

チリだより—MOANI(モアニ)の活動—

カロンドレット聖ヨゼフ会



子供たちの家庭はもちろん貧困だけでなく家庭内暴力や両親のアルコール及び薬物薬毒などの問題をかかえています。若者たちは、こうした子供たちの人生の歩みにより添つて、手助けをしてゆきます。シンナーに犯された一人の少女は彼らに助けられて成長し、後に彼女も子供たちの世話をするようになり、昨年結婚しました。私たちには彼女の結婚式に参加し、幸せにあづかりました。

● 夏休みの一つの活動から

夏休み中に若者たちは子供大会（五日間）を私たちの小教区で催しました。まず、聖堂や五つの集会室、台所の使用許可を得ることに始まり、次にそれぞれの場所のワックスかけの大掃除、ゲームの準備、大会前日には約百五十人の子供たちのための食器洗い、日中の暑さから子供たちを守るために網目のテント張り、舞台をつくり風船で飾り付けて準備OK。

彼らの働きは、自分の夢を一步実現しているかのように一生懸命で、私はその姿に感心させられました。子供大会第一日目。朝九時、若者たちが到着。椅子を並べたり最後の準備に走り回っています。九時半。他の若者たちが自分のグループの子供たち（七歳位から十五歳位まで）を連れて現われる。子供の数。ざっと百五十人。

この四日間。グループの歌、踊り、劇などの発表に始まり、朝十時から夕方六時までゲーム、遊びはもとより、毎回一つのテーマにとづいて子供たちは学びます。例えば、薬物やタバコの害について、家族のかかわりや性についてなどビデオや指人形を通して学び、その後グループに分かれて話し合ったり、グループごとで紙にまとまり、各自が絵を描いたり、粘土で作品を作ったり、薬物やタバコの放棄を呼びかけるポスターを描いたりなど、大会内容はよく計画され、すばらしいものでした。

最終日は、バスで子供たちを川に連れて行きました。それが大会の最大イベントなのですが、その前日、若者たちは子供たちを少し早く帰らせ、使用した集会室と大聖堂の大掃除と片づけを始めました。そして、それが終わると明日のビクニックのために百五十人分の食事の用意に夜遅くまでかかりました。ビクニック当日も朝八時には集合し、バスに食料や飲みもの、おやつ、ナベ、ヤカンにいたるまで積み込む仕事に始まり、帰宅するまで、子供たちの服の着がえの手助け、一緒に遊んだり、本当に一日中働きづめでした。

時々失敗してもすべて自分たちで計画し、実行し、責任をとり、奉仕活動を自発的に実行してゆく。それとともに子供たちを教え、みずからも視野を広げ学び成長していく。こんなのもしい若者たちが、ここに育っています。

教区中学生広島体験学習感想文

平和の大切さ

岩田万里絵（登美ヶ丘教会）

私は八月四日～七日まで広島体験学習に参加しました。広島には、六年生の時修学旅行に行つたので、これで二回目です。でも、修学旅行の時とこん回の広島では、感じたことも全然ちがいます。この体験学習で学んだことといえば、「平和の大切さ」です。原爆ドームや原爆の子の像を見て、どれだけ平和というものが大切なものだということがよくわかりました。

原爆ドームは、修学旅行の時はバ

スの中から見ただけだったけど、

この回は、ひめぐりでじっくりと見れました。戦争で原爆をうけたのに、一部がまだ残っているのがすごいと思いました。平和に向かって鶴を飛ばそうとしている原爆の子の像は、大へん印象にのこりました。いろんな所からたくさんの人々が原爆の子の像に千羽づるをさげていました。

そして六日の午後は、実際にひ

爆された山口やす子さんの話をききました。山口さんはひ爆した時

の話をされるたびに、その時のことを思い出しているような気がしました。山口さんは十三さいの時に原爆をうけて、お姉さんをなくしました。山口さんのお母さんが山口さんに「お姉さんが亡くなつた」ということを知らせたら、山口さんはしんじられなくて、それが本当の話と知った時は、悲しい思いをしたそうです。私達といっしょのとしに原爆をうけたので、山口さんの気もちがよくわかりました。

私達は、平和が当たり前のよう

に毎日生活をおくつているけれど、世界中には平和を求めて生活して

いる人々がたくさんいるというこ

とがわかり、私達ももう二度と戦争をおこさないように、一人一人が平和についてと心がけるこ

とが大切です。そうすることができました。この体験学習は、私になりました。私もこれから自分の

できることは、いやがらずに進ん

でできるようにがんばりたいと思

います。



前野智子（草津教会）

何故こんな事に

なったのか』という事を、常に頭において色々なモノを見ました。

そんな事考えたって仕方がないと思う人もいるかもしれないけど、私は考えてみました。まず簡単な答えを出すと、それは『戦争をしたから』という事になります。

私がこの広島体験学習に参加したのは、今年で二回目でした。果たして、私が去年よりも戦争について理解できているのか、と問わ

れると少し自信がありませんが、去年とは違う事を考えられたのは

確かです。

去年はただ怖い、と思いながら色々なモノを見ていました。特に原爆資料館のモノ等はその後の食事が食べられなかつたほどでした。

しかし今年は、『何故こんな事に

なったのか』という事を、常に頭

において色々なモノを見ました。それには、今年で二回目でした。果たして、私が去年よりも戦争について理解できているのか、と問わ

れると少し自信がありませんが、去年とは違う事を考えられたのは

確かにどう戦争が起くるのでしょうか。

そして今、また別の戦争が私達の回りで起こっています。それは『いじめ』です。この戦争でまだ幼い命を絶つた人達は、私達に何かを訴える為に自殺なんかをしてしまったのだと思います。それに、大きな戦争だろうが小さな戦争だろうが、一人一人に残すキズの深さは同じです。だから絶対に、戦争はしてはいけないし、私もできるだけ人を許し、愛せる様な人になれたらいいなあと思います。

この体験学習に参加して、私は友達も増えたし、戦争や平和についても考える事ができたので、本当に行つて良かったと思います。

紀元二千年をめざしての五カ年計画(2)

唐崎教会(滋賀)

1996年10月1日発行(227号)

京都教区時報

- ◆一九九六年のテーマ
教会と家庭
- ▼一九九六年の課題
・家庭における信仰について
- 【実践】シスター、司祭にお話を聞く
- ◆一九九七年のテーマ
共同体の一致
- ▼一九九七年の課題
・信徒の話し合い(目的の共有)、ベクトルの一致)
- ・神父さんとの話し合い、神学生との話し合い
- ◆一九九八年のテーマ
地域と宣教(準備の年)
- ▼一九九八年の課題
・唐崎教会創立五十周年を期して
- ・地域へのアピール(啓蒙活動)
- ・地域とのつながり方法の模索
- ・差別問題(障害者・部落・いじめ等)を学ぶ
- ◆一九九九年のテーマ
地域と宣教(実践の年)
- ▼一九九九年の課題
・地域の子供達の教会学校への導き

- 聖パウロ幼稚園を通して教会の理解

- 社会への奉仕、活動の実践
 - ◆二千年のテーマ
希望(隣人への愛の実践)
 - ▼二千年の課題
・四年間を振り返って、反省と見直し
 - ◆五年間のテーマ
カトリックの信仰に今生きるものとして
 - ▼一九九六年の課題
創造主を父としての私たちは苦痛をさけない
 - 問題を忠実に見つめる力
 - 判断する力
 - よりよい方向への希望と祈り
 - 個人と共に共同体の中で課題をおく生活に集中したい。
 - ▼一九九七年の課題
家族として教会も大切にし、秘跡を通して、
 - キリストへの委託
 - キリストとの交わりの喜びを基にして
 - キリストの心を求める祈り、日々、愛の葉
- ▼一九九九年の課題
あるキリストがいやそうとされた人間の考え方から離脱したい努力
- ▼一九九八年の課題
神が生命をわけて下さる聖靈と共に
- 処女マリアを聖母とされた聖靈十二人の男を聖なる証人とされた聖靈を信頼して、罪深い人間の営みを神のものとする社会の中の教会の一人として生活を通して信仰の証人となる恵みに留意しつづけること。
- 最初に岡田司教より講話をして頂きました。私たちが今後考えていくための参考にするため要旨を掲載します。

- ◆一九九六年の課題
普通教会を中心ゆるしと愛を人々に分つ工夫を重ね、
- キリストは御父への贊美をささげて、よい業をして世を渡られたので、ミサ聖祭の心と二金会
- 賛美と奉仕・奉獻の生涯を完成させさせていたしたこと。
- ▼二千年の課題
NICEは何であったか。
- ◎一九八四年の基本方針と優先課題、一九八六年のNICE1、一九九三年のNICE2。
- ◎NICEはもう結構という雰囲気はなぜ? 当初から、会議をやれば教会が変わるわけではない、という冷ややかな見方、またNICEは政治的偏向の会議などの批判あり。NICE2の「家庭」は出させた真理に心を集中して、教会の刷新か家庭の問題かの議論が決着しないまま中途半端でおわる限り続く罪との闘いの現実から回心と希望を新しい勇気で示し
- ◎生活から信仰を、社会の現実から教会のあり方を考える、というNICEの方向を確認すること。

日本の教会の現状と課題

(岡田司教の講話の要旨)

- 八月十九日(土)二十日(日)、京都教区司祭・修道士研修会が名古屋で開かれ、紀元二千年に向けての取り組みについて話し合われました。
- 最初に岡田司教より講話をして頂きました。私たちが今後考えていくための参考にするため要旨を掲載します。
- NICEは何であったか。
- ◎一九八四年の基本方針と優先課題、一九八六年のNICE1、一九九三年のNICE2。
- ◎NICEはもう結構という雰囲気はなぜ? 当初から、会議をやれば教会が変わるわけではない、という冷ややかな見方、またNICEは政治的偏向の会議などの批判あり。NICE2の「家庭」は出させた真理に心を集中して、教会の刷新か家庭の問題かの議論が決着しないまま中途半端でおわる限り続く罪との闘いの現実から回心と希望を新しい勇気で示し
- ◎生活から信仰を、社会の現実から教会のあり方を考える、というNICEの方向を確認すること。

日本の教会の宣教の歴史の振り返り

- ◎キリスト教の禁教はなぜか。
- ◎明治以降の宣教において、日清・日露戦争のあたりで大きな方針の転換があったのではないか、あつたとしたらなぜか。
- ◎昭和の教会の戦前・戦中と戦後の歩み。

アジアの教会との和解・連帯・協力

- ◎共通の歴史認識。韓国との関係から初めて。
- ◎経済侵略の問題、主としてフィリピンとの関係で。
- ◎教会間の交流。
- ◎教会の歴史教育の課題。

教会の社会教説

- ◎教会の社会教説は日本の教会にどのような意味をもつてゐるか。
- ◎日本教会はそれをどのように受け止め説明するか。
- ◎日本の教会独自の社会へのメッセージは何か。

日本文化と社会の福音化

- ◎個の確立。自立。つかずはなれずの人間関係。
- ◎個人の確立。自立。つかずはなれずの人間関係。

◎日本社会の中核としての天皇制。価値観の基準、アイデンティティの基準。その福音化は？

- ◎新しいカタキズム。

現代人の現実と生活

- ◎いまは企業を中心の社会。企業の論理が生活を支配。そのなかで教会はいかにいきるか。
- ◎現代人の飢え乾き。ふれあい知り合い教え合い一つになりたいという欲求。それに応える宗教の使命。コミュニケーションと教会。
- ◎典礼のあり方の刷新。外国人とのミサ。司祭不在の主日の典礼。
- ◎外国人移住者・滞在者・定住者と教会。緊急かつ重大な課題。日本人と結婚したフィリピン女性とその子どもの世話、教育。教会の普遍性への挑戦／日本の教会の成長のとき。
- ◎障害者について。境界線上の人々。

- ◎教会の歴史認識。韓国との関係から初めて。
- ◎経済侵略の問題、主としてフィリピンとの関係で。
- ◎教会間の交流。
- ◎教会の歴史教育の課題。

教会の現状と課題

- ◎現代社会と人々の要望にいかにこたえるか。
- ◎温かいふれあいの必要。
- ◎若者に夢を！青少年育成。教会に若者の場を！JYDは注目。
- ◎共同宣教司牧。

映画『デッドマン・ウォーキング』を見た

小山教会 小山昭仁

人間は、どのようにして死を受ける入れるのか。周囲にいる者はその死に対して何を学ぶのか。

このように私たちに問いかけたのは、映画『デッドマン・ウォーキング』という作品である。内容を簡単に説明すると、ひとりの死刑囚とカトリックのシスターとの

死刑執行までの日々を通じて、死刑囚、シスター、被害者の遺族、死刑囚の家族、そして、死刑制度の賛否も考慮したあらゆる人間の利害関係を率直に描いた作品である。私は今まで死刑制度の歴史的背景や存在意義など正直言って深く考えてこなかつた。しかし、何故このような作品が人々に評価され、私のような無知の者でも感涙にむせぶのか。

私はここで作品の中のそれぞれの立場の思いや感情を忖度（そんたく）する気はない。しかし、唯一すべての立場に共通した普遍的な立場に述べたように死である。それは

過しきれない問題である。しかも、この作品では死刑囚という立場から、死とは何か、死刑とは何か、そして人（社会）が人を裁くとは何か、を問い合わせたものである。より具体的に言えば、死刑囚の死に私たちにはいかなる価値を生みだせばよいのか。

私がここで生死論、死刑制度について論じる程の者ではない。だから最後に私の好きなヴィクトル・ユーロの「レ・ミゼラブル」の序

の部分を引用して終わらして頂きたい。「法律と風習とによつて、ある永劫（えいごう）の社会的处罚が存在し、かくして人為的に地獄を文明のさなかにこしらえ、聖なる運命を世間的因果によって紛糾（ふんきゅう）せしむる間は、……本書のごとき性質の書物も、おそらく無益ではないだろう」（豊島与志雄訳）。

この文章の中で、「社会的处罚」「本書」「書物」の部分をそれぞれ「死刑制度」「デッドマン・ウォーキング」そして「映画」と置きかえてもらいたい。

〔編集者注〕
冒頭に述べたように死である。ご存知のように死は私たちに平等に与えられ、一度しか味わえない見

会に若者の場を！青少年育成。教会に若者の場を！JYDは注目。

付度（そんたく）＝他人の心中をおしはかること。推察。

お知らせ

三重地区の行事

◆運動会 5日。津保育園

三重研宗館の行事

◆暮しの中のカウンセリング

◆毎曜日10時~12時

◆韓国語講座 每木曜日 10時
~12時

◆茶道教室 每木曜日 13時~15時

◆自然治癒力健康法温熱療法

◆毎金曜日11時~13時

◆AA 每土曜日 18時~20時

奈良地区の行事

◆青年を対象とした「ローマの信徒への手紙」を読んで聖書と親しむ」集い 3日、17日19時30分。

◆奈良正平協習会 13日14時~16時。大和八木教会。テーマ=「部落差別とカトリック。発願者=神林師(大阪教区)

◆バザー 27日11時~14時。登美ヶ丘教会

◆奈良県結婚互助会例会 大和高田教会

◆バザー 27日。大和郡山教会

◆奈良県結婚互助会例会 大和

◆子羊会四十周年記念ミサ 10日

滋賀地区の行事

◆滋賀県信徒交流会

◆京都北部地区の行事

◆土曜学校 第1、3、4土曜

◆京都南部地区の行事

◆朝禱会 (すべてのキリスト者に開かれた超教派の祈りの運動)

◆在世フランシスコ会京都兄弟会。未信者対象

◆聖体讀美と感謝の集い 20日

◆聖体顯示と講話 15日。女子カルメル

◆聖體讀美と感謝の集い 20日

◆聖体顯示と講話 15日。女子カルメル

◆聖體顯示と講話 15日。女子カルメル

日。高野教会

◆信陸二金会 11日。西陣教会

◆イエスの聖テレサ(アビラ) 13時~16時30分。お茶代百円

◆聖書研究と手話の勉強 每木曜日19時30分

◆Sr.アンタの書道教室 每金13時半。西陣教会

◆聖体顯示と講話 15日。女子カルメル

◆創立記念行事・宗教講演 21日。洛星中高等学校

◆糠みその会 31日。九条教会

◆インドヘ友愛の手を! チャリティーコンサート(5) 11月10日14時。京都コンサートホール。

◆京都力トリック混声合唱団 13日14時、26日19時

◆衣笠墓地委員会 6日14時

◆京都南部地区司祭集会 17日

◆一万匹の蟻 16日19時

◆レジオ・マリエ京都コミチウム 20日12時30分

◆Sr.ドローレスの聖書講座 25日

◆一萬匹の蟻 16日19時

◆西院カトリック会館行事

◆連続講座「聖書の世界・ヘレンズム時代を背景にして」毎第一金曜日19時。小山教会。講師=伊藤照夫(産業大学教員)。無料。

◆幼いイエスの聖テレーズ聖体顯示と講話 1日。女子カルメル

◆都の聖ラザロ顕彰記念・都の大殉教五十二名列福祈願ミサ 6日10時半。河原町教会

◆おてんとさんの会 每火曜日13時~16時30分。お茶代百円

◆Sr.アンタの書道教室 每金曜日13時30分。月謝三千円

◆河原町カトリック会館行事

◆力ナの会結婚相談室 6日13時受付。13時30分~15時

◆衣笠墓地委員会 6日14時

◆京都力トリック混声合唱団 13日14時、26日19時

◆レジオ・マリエ京都コミチウム 20日12時30分

◆Sr.ドローレスの聖書講座 25日

◆一萬匹の蟻 16日19時

◆レジオ・マリエ京都コミチウム 20日12時30分

◆日本カトリック研修センター

◆生活の中で読む聖書(3) コース 11月14日~17日。内容=病者・

高齢者訪問、聖体奉仕者養成、信徒、修道者、司祭対象。定員四十名。三万円。連絡052(831)5037

あんてな ((((()))))

日時 十一月二十三日
 (土・祝) 十時三十分
 場所 京都ノートルダム女子大学内、ブルーラウンジ



LOOK AT ME

こんちは！若者のみなさん、まだまだ若者だと思つていいでしょうか？ご存じだとは思いますが、十一月二十三日(土・祝)京都ノートルダム女子大学において、日本二十六聖人殉教四百年祭 in 京都が行われます。このイベントに、たくさんの人があつまります！この機会をのがしてはならないと、私たち青年も、たくさんの若者たちが交流できる企画を用意しました。タイトルは、“LOOK AT ME”です。「わたしを見てください」という意味ですが、その名のとおり、バンド演奏や、演劇、写真の展示などの他、模擬店などを予定しています。めったにない青年たちがたくさん集まるこのチャンス!!これを読んだ人は、十一月二十三日ノートルダムへ集まろう！

内容 写真展示、模擬店等(予定)

日本二十六聖人殉教四百年祭 in 京都終了後、青年の交流会を予定しています。

場所、時間など詳細は決定しだい、じよばにやポスターその他で、お知らせします。

わたしを見て！！と思っているあなた！この“LOOK AT ME”に出演してみませんか？演奏、演劇、アピールなんでもOKです。また、スタッフも募集しています。

出演、出展の申し込み、詳細のお問い合わせは、青年センターまで。(記：中出 康彦)

(((())))) あんてな

●MASS IN ENGLISH (英語ミサ)

*SHIN-AI KINDERGARTEN
 ~PAG-ASA COMMUNITY
 Every Sunday 3 p.m.

*Franciscan house
 Every Wednesday 4 p.m.

*NISHI-MAIZURU church

The first Sunday of the month 3 p.m.

*KUSATSU church

The fourth Sunday of the month 2 p.m.

*NARA church

The last Sunday of the month 2 p.m.

*YAGI church

The third Sunday of the month 2 p.m.

*TSU church

The second Sunday of the month 2 p.m.

*MATSUZAKA church

The first Sunday of the month 3:30 p.m.

*YOKKAICHI church

The second Sunday of the month 4 p.m.

*SUZUKA church

The fourth Sunday of the month 2 p.m.

●MISSA EN PORTUGUES (ポルトガル語ミサ)

*Igreja paroquial de KUSATSU
 Segundo domingo do mes tarde 15 horas

●MISA EN ESPAÑOL (スペイン語ミサ)

*Iglesia de FUSHIMI
 Segundo Domingo del mes a las 2 de la tarde
 *Iglesia de KUSATSU
 Primer y tercero Domingo del mes a las 2:30 de la tarde
 *Iglesia de YAGI
 Primer Domingo del mes a las 2 de la tarde
 *Iglesia de NISHI-YAMATO
 Segundo Domingo del mes a las 3 de la tarde
 *Iglesia de SUZUKA
 Segundo Domingo del mes a las 2 de la tarde

●한국어 미사 (韓国語ミサ)

*京都コリアン・カトリックセンター
 第1日曜日 午前10時

教区スケジュール

- 10月
- 1日 (火) 奈良学園理事会
 - 3日 (木) 司教顧問会
 - 4~12日 田中司教ローマ行 (聖エジディオ共同体)
 - 11日 (金) 宣教司牧評事務局会議
 - 14~18日 教区付司祭懇親会
 - 20日 (日) 堅信式 (北白川教会)
 - 27日 (日) 青少年担当者会議

お知らせ

- ◆帰天 Sr.メリーラ・マーガレット平沢雅 (ノートルダム教育修道女会)。8月20日
- ◆ニュース『日本二十六聖人殉教四百年祭 in 京都』より
- ▼四百年は来年ですが、今年の末開催の目的は?
- 日本二十六聖人の殉教は、一五九七年二月五日でした。田中司教の開催趣意書に、「二十六聖人は、殉教の前年 (一五九六年十二月の暮れ) に京都で捕えられ、長崎への千キロの死の巡礼を強いられ、西坂の丘で処刑されました。」とあります。まず、厳密には、一五六年十一月八日秀吉が京都、大

阪のキリスト教徒の捕縛を命じ、死刑令を出しました。そして十二月三十日頃二十四人の死刑が命じられ、一五九七年一月二日役人が逮捕して二十四人が京都の牢に入られました。翌三日、京都市中引き回しの上「一条の辻」で耳を削がれ、四日大阪へ護送されたという次第です。従って、前年の十二月から捕縛の動きがあつたということになります。また京都から長崎への道は、船での四〇キロを含まなければ約九〇〇キロが正確でしょう。

いずれにしても、二十六聖人の架の道行き) を経て、カルワリオの丘で釘づけられた主イエス・キリストの御受難の道のようだ」、日本二十六聖人殉教が、「京都から始まって長崎に至り切ることの出来ない一連のものであり、また日本キリストンの信仰の初穂として光榮を受けた彼らの中に、近畿地方の出身者が数多くおられることに私たち京都教区民は誇りを持ちつつ、殉教者の信仰を思い、その取り次ぎを求めて、現代の私たちは福音宣教の熱意をかり立てなければならぬ」というのが、京都での長崎に先立つ今年の四百年祭開催の理由です。

◆福音センター養成コース
▼祈りのコース (2) 11月8日
→ 10日。ノートルダム唐崎祈りの家。内容=自分に聴き、神に聴く。
内面からキリストに回復していく。
定員十五名。一万七千円。申込0
75(822)7123
◆青年センターよりお知らせ
▼青年センター休館日 1日、
5日、8日、10日、15日、19日、
22日、29日
▼スポーツ大会 19日12時30分集合。草津市ふれあい体育館グラ
ンドにて。会費百円。申込、問い合わせは青年センターへ
◆部活動問題委員会学習会
秋晴れのもと、リバティおおさか「人権博物館」にゆきませんか?
あまり知られていない、韓国・朝鮮人、被差別部落の人々が生み出した文化。沖縄、アイヌの人々の歴史。中世京都の町並と生活、結界・女人禁制、差別墓石の実物、証言コーナーなどがある。差別、抑圧の構造社会を現在も生み続けているものはなんだろう。一コマ、一コマのなかから私たちに語りか

けて来るものは実に大きい。豊かな感性を育むところ。装い新たになつた、トータルな人権博物館。お気軽にご参加ください。

20日 12時 京阪三条駅北出口集合。	12時30分出発。17時30分頃解散。
加入者 851名	交通費千百円自己負担。入場料二百五十円。

◆「一万匹の蠍運動」基金報告
累計 12,942,021円
加入者 851名
(8月19日現在)

◆編集部よりお知らせ
お知らせに載せたい行事の情報は、11月号でしたら9月30日までに、12月号でしたら10月28日に、FAX 075(682)5673にお願いします。

◆電話番号情報コーナー
▼いのちの電話 (相談窓口)
075(864)4343
052(971)4343
0742(35)1000
052(971)4343
075(662)3971
▼京都市東九条在宅介護支援センター (24時間体制)
075(781)5884
▼聖ヨゼフ葬典社
075(312)7829